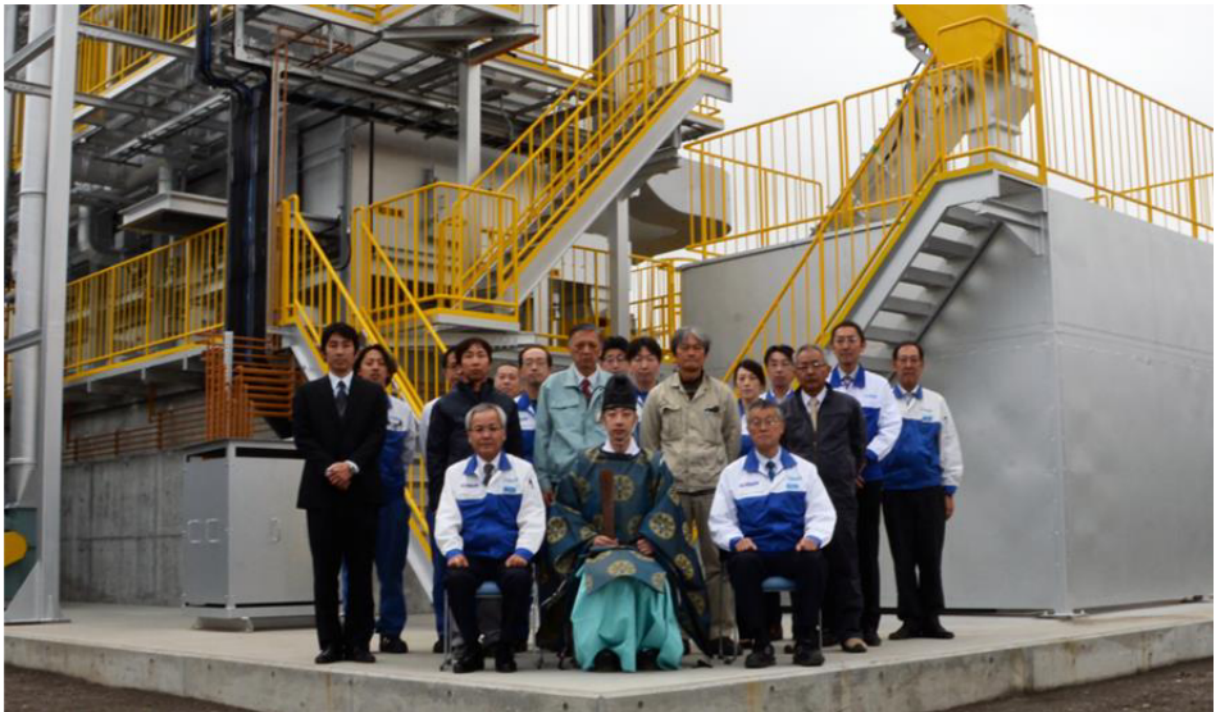


苫小牧工場 バイオマスボイラ 火入れ式の開催

株式会社ダイナックス(以下「当社」)は、2023年10月27日、苫小牧工場にて、木質チップを燃料とするバイオマスボイラ(蒸発能力:4トン/h)の完成に伴い、火入れ式を執り行いました。設備や工事関係者の皆様にもご参列いただき、安全祈願を行いました。



(写真:火入れ式での関係者による記念撮影)

本バイオマスボイラは、経済産業省による令和4年度先進的省エネルギー投資促進支援事業の助成を受け、2022年11月に工事を開始しました。2023年10月に無事に竣工し、年内に試運転を実施し、2024年1月に本格運転を開始する予定です。燃料については、産業廃棄物の解体材などを選別・破碎した木質チップに、自社で発生する木質含有の廃棄物を加え、CO2排出量の削減だけでなく、廃棄物の削減効果もあります。

今回、バイオマスボイラ導入により天然ガス用ボイラ12台、A重油用ボイラ1台を停止し、天然ガス使用量は工場全体の約31%、A重油は100%削減できます。CO2排出量としては年間約3,501トンの削減を見込んでおり当社全体の9.3%に相当します。

<火入れ式写真>



① 実施風景



② 玉串奉奠(伊藤 代表取締役社長)



③ 玉串奉奠(川合 取締役上級執行役員)



④ 玉串奉奠(石谷 CN 推進部長)



⑤ 玉串奉奠(齊藤 安全衛生部長)



⑥ 清祓の儀



⑦ 火入れの儀(伊藤 代表取締役社長)



⑧ 神酒の儀(川合 取締役上級執行役員)

<バイオマスボイラ写真>



バイオマスボイラ仕様	定格実際蒸発量: 4トン/h 燃料: 木質チップ
導入施設および所在地	ダイナックス苫小牧工場 (北海道苫小牧市)
着工月	2022年11月
火入れ式	2023年10月27日
運転開始	2024年1月

当社は、2050年にカーボンニュートラルを目指し取り組んでおり、2030年には2019年度比で温室効果ガス(GHG)排出量を46%削減することを目標に掲げています。今後も再生可能エネルギーの導入をはじめ、環境に配慮した製品群の拡充、生産体制の双方からカーボンニュートラルに挑戦し、SDGsの理念に基づく「未来の社会づくり」に貢献して参ります。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社ダイナックス カーボンニュートラル推進部 舟根

TEL : 070-1400-4503 E-mail : funane-t@mail.dxj.co.jp